

今年の夏はエディンバラでお祭り騒ぎ！？ Festival Frolics

‘エディンバラ・フェスティバル’に初めて行ったきっかけは、芸術とは全く関係ないことからでした。ただ、多少の美学とは関係していたでしょうか。というのも、エディンバラに行った理由が、当時夢中だった魅惑的な黒い瞳をした女性がそこに住んでいたからです。彼女に会えるという希望もない楽天的な考えで、グラスゴーの近くに住んでいた私はエディンバラに行き、愛に見捨てられたような孤独感に苦しむより街中を探し回ることを決めたのです。彼女がエディンバラの何処に住んでいるかも知らなかったのですが…。20年以上経った今でも、この若気の至りの行動に恥ずかしさで身が縮む思いがします。フェスティバルが行われていたエディンバラで、手品師やマイムアーティスト、パグパイプ演奏者、チラス配りをよけながら、彼女をみつけようと、わびしく放浪しました。当然のように収穫のない1日が終わり、帰りの電車に乗る前に駅構内のバーで自分を慰めるためにウイスキーを注文したところ、バーのドアになんと彼女が！笑顔で私の名前を呼び、両腕を伸ばしながら走ってきたのです。それは電車が発車する10分前のことでした。

長い前置きになりましたが、私の思い出をご紹介したのも、ハリーポッターの誕生したエディンバラが魔法のように魅惑的な場所ということをお伝えしたかったからです。特に、‘エディンバラ・フェスティバル’が行われる8月の3週間は、人口が倍増し、ミュージック、ダンス、演劇、コメディなど、ありとあらゆるエンターテインメントのパフォーマーやフェスティバル狂の大群で街は溢れかえります。

‘エディンバラ・フェスティバル’は、約70年前の第二次世界大戦後に、人々を元気付けるという高尚で真面目な目的で始まりました。エディンバラ・フェスティバルの一環として、世間ではまだ認められていない前衛的なパフォーマンスのショーケースとなる‘エディンバラ・フェスティバル・FRINGE’も誕生しました。このエディンバラ・フェスティバル・FRINGE、今では親的な存在のエディンバラ・フェスティバルをも凌ぎ、世界で最も大きなフェスティバルとされています。世界的に有名なアーティストや名高いカンパニーによって行われていたオリジナルの公式フェスティバル(エディンバラ・フェスティバル)は、大衆の注目を集めようと、エディンバラ・フェスティバル・FRINGEと70年代初めに和解するまで競争し合いましたが、その後、双方は資金を出し合いながら共存し、素晴らしい結果をだしています。

驚異的な人気にもかかわらず、すべての人がフェスティバルを支持している訳ではありません。急激な発展を遂げたためフェスティバルが運営しがたいサイズに成長したと指摘されています。コメディアン Victoria Wood は‘there are more people in it than watching it. (観客よりもパフォーマーがいる)’と言ったほどです。事実、これは統計的に十分に正しくはありませんが、誇張表現でもありません。約2万人のパフォーマーが参加し、約2,000の演目が行われ、200万弱のチケットが売れているのです。

その上、質も問題になっています。FRINGEのクリエイティブな無秩序さは、演目のいくつかがずばり無価値であることを意味しています。そうはいても、大部分のものは楽しめます。賢い事前注意としては、まず、地元紙スコッツマンの the ‘festival bible’ の批評をよみ、次に、無料のお試しセッション ‘The best of the fest’ にいくつか参加して、有名な two-for-one show deals の特典を利用すれば、大失敗の危険性は最小限にできるでしょう。ただ、正直なところ、いくつかのひどい演目がある意味、最もエンターテインメントかもしれません。

シリアスなフェスティバルの今年のラインアップは中国や韓国由来のダンス、中国高級官僚のリア王、村上春樹の『ねじまき鳥クロニクル』のドラマ版です。これらの洗練された演目と同時に、金鉱探しをする人々のように街に押しかける沢山のコメディアンによるばかげた独演も繰り広げられます。そして、最高コメディ賞やテレビ契約も待っているのです。

今年の夏は、エディンバラに行って、この素晴らしい街が3週間の間に繰り広げる全てのものを楽しんでみてはいかがでしょう？もちろん、私が初めて訪問したときよりも、もう少し現実的な期待とともに旅行をされることをアドバイスしますが。。

最後に、20年前に女性と再会した後に何が起きたかは、私の秘密です。一言だけ言うと、私は列車に乗りませんでした！

参考情報: <http://www.edinburghfestivals.co.uk/festivals/fringe>